

【熱海市】

国の重要文化財。ブルーノ・タウトが設計し国内に唯一現存する建造物

観

旧日向家熱海別邸

見学可

所在地 熱海市春日町8番37号
竣工年 1936 年
建築面積 332 m² 延床面積 702 m²
構造/階数 鉄筋コンクリート造/地上2階 地下1階
詳細URL <http://www.city.atami.lg.jp>
備考 見学の再開は令和4年夏以降の予定です

	歴史的建造物	

施設の特徴・コンセプト

実業家 日向利兵衛の別邸として1936年に完成。急斜面に建てられているため、土留めの代わりに鉄筋コンクリート造の地下室が造られ屋上が庭園となっています。木造2階建て上屋の設計者は、東京銀座和光の設計などで知られる渡辺 仁です。地下室はドイツの建築家ブルーノ・タウトが内装を設計。タウトが日本に残した唯一現存する作品です。2004年に熱海市が篤志家の寄付を得て取得。2006年7月に国の重要文化財に指定され、国民共有の財産となりました。



地下室（社交室）



外観（東面）



地下室（洋風客間）